

2019年度事業報告書

I 事業の状況

I. 公益事業

1. 学術講演会の開催

第115回日本精神神経学会学術総会を、染矢俊幸会長、松田ひろし副会長のもとに、2019年6月20日～22日の3日間開催した。朱鷺メッセ：新潟コンベンションセンター／ホテル日航新潟に於いて「ときをこえてはばたけ 人・こころ・脳をつなぐ精神医学」をテーマとし、特別講演2題、会長講演、教育講演19題、会長企画シンポジウム2題、委員会シンポジウム29題、シンポジウム90題、ワークショップ12題、Fellowship Award Symposium、市民公開講座を行い、一般演題（口頭・ポスター含む）1249題とあわせて活発な発表、討論がなされた。参加者数は延べ6,000人を超え、盛会のうちに終了した。

II. 機関誌刊行物事業

(1) 精神神経学雑誌（和文誌）の刊行

- ・第121巻第4号より第122巻第3号まで月刊で12号、延べ998ページを刊行した。
（発行部数：第121巻第4号～12号、第122巻第1号～3号 約7,200部）

(2) Psychiatry and Clinical Neurosciences（英文誌）の刊行

- ・第73巻 第4号～第12号、第74巻 第1号～第3号までの12号分、計856ページを刊行した。
（冊子体発行部数：各号 約450部、冊子体については2号分を1冊とし、計6冊発行）

III. 委員会活動事業

下記各種委員会を設置し、所管の事項の審議およびそれにもとづいた研究・調査等の活動を行った。本学会基本理念のもと、精神医学・医療・保健・福祉の質的向上に貢献することを委員会活動の基本に置き、学術研究のみならず臨床に関する現実的な課題についても取り組んだ。委員会活動は以下の6部門から構成され、幅広く活動を実施した。活動内容の詳細については、別紙・2019年度委員会活動報告を参照いただきたい。

ー 2020年3月時点での各部門に属する委員会（計54委員会）

■ 学術・教育部門

1. 精神科用語検討委員会／精神科病名検討連絡会
2. 精神神経学雑誌編集委員会
3. PCN編集委員会／PCNを育てるPIワーキンググループ
4. 精神医学奨励賞・精神医療奨励賞選考委員会
5. フォリア賞選考委員会
6. 学術総会企画委員会
7. 精神医療・精神医学情報センター運営委員会
8. ICD-11委員会
9. 精神療法委員会
10. 小児精神医療委員会
11. 司法精神医学委員会
12. 精神医学研究推進委員会
13. 認知症委員会
14. eラーニング編集委員会

■ 専門医制度部門

1. 専門医制度常任委員会／サブスペシャリティに関する検討班／専攻医定員募集に関する検討班／専門医制度情報システム構築班
2. 専門医制度整備委員会
3. 専門医研修委員会
4. 医師臨床研修制度に関する検討委員会

5. 専門医試験委員会 6. 研修プログラム審査委員会 7. 生涯教育委員会
8. 指導医資格認定委員会 9. サマースクール実行委員会 10. 精神科薬物療法研修運営委員会
11. ガイドライン検討委員会／精神医学・精神医療に関するパラダイムシフト調査班

■ 精神保健・医療・福祉部門

1. 精神医療・保健福祉システム委員会 2. 精神保健福祉法委員会
3. 身体的拘束に関する特別委員会 4. 精神保健に関する委員会 5. 医療経済委員会
6. 精神科医・精神科医療の実態把握・将来計画に関する委員会／オンライン精神科医療検討作業班／精神科医の業務に関する検討班 7. 心理職に関する委員会 8. アンチスティグマ委員会
9. ECT・rTMS 等検討委員会 10. 多職種協働委員会 11. 性同一性障害に関する委員会
12. 薬事委員会 13. 災害支援委員会

■ 法・倫理部門

1. 法委員会 2. 医療倫理委員会 3. 倫理委員会

■ 広報・国際部門

1. 国際委員会 2. 広報委員会 3. 出版委員会

■ 庶務部門

1. 学会諸規則委員会 2. 情報システム委員会 3. 財務・特定資産検討委員会
4. 代議員選挙管理委員会 5. 利益相反委員会 6. 情報管理委員会 7. 代議員総会議事運営委員会
8. 男女共同参画推進委員会 9. 代議員女性枠検討特別委員会 10. 各種委員会活動評価委員会

IV. 精神医学・精神医療奨励賞事業及びフォリア賞事業

1) 精神医学・精神医療奨励賞事業

・精神医学奨励賞

受賞者 : 曾根大地

・精神医療奨励賞

該当なし

2) フォリア賞事業

受賞者 : 矢田康人・他

受賞対象論文 : “Online cathodal transcranial direct current stimulation to the right homologue of Broca’s area improves speech fluency in people who stutter”
(Psychiatry and Clinical Neurosciences, Volume 73, Issue 2, pages 63-69, 2019 掲載)

V. 国際交流事業

世界精神医学会 (WPA)、その他精神科関連の国際学会との国際学術交流をはかった。

具体的には、以下のような活動を実施した。

- ・年次学術総会において、英語での演題発表ならびに海外からの参加者の受付を行った。
- ・海外若手精神科医を第 115 回学術総会に招聘し、以下シンポジウムの企画・実施、ならびに「JSPN Fellowship Award」を授与した。

<第 115 回学術総会 Fellowship Award Symposium>

- ・Coercive measures in psychiatry
- ・Case Vignette (行動嗜癖 インターネット・ゲーム依存)

<JSPN Fellowship Award 2019>

受賞者一覧

Adam Mollinger (Australia)	Camille Noël (Belgium)
Anna Szczegielniak (Poland)	Chau Sian Lim (Singapore)
Bryan Smith (USA)	Michael Wallies (Switzerland)
Jiann Lin Loo (Malaysia)	Óscar Soto (Spain)
Özlem Kuman Tunçel (Turkey)	Pavita Chongsuksiri (Thailand)
Rashmi Patel (UK)	Zijie Su (USA)

- ・2018年に国際学会にて口頭発表を行った若手会員に、「国際学会発表賞」を授与した。

<個人発表部門>

久保田 学、黒川 駿哉、藤野 純也、藤本 岳、吉田 和生

<シンポジウム組織発表部門>

長 徹二

- ・Royal Australia and New Zealand College of Psychiatrists 大会に会員3名を派遣した。
- ・American Psychiatric Association 大会 に会員3名を派遣した。
- ・WPA 関連学会に、本学会の活動を紹介するリーフレットを送付した。

VI. 専門医認定事業

- 精神科専門医を目指す研修医からの研修手帳購入受付（再発行）を行った。
- 生涯学習活動の推進のための「生涯教育研修会」を2019年6月22日に実施した。
- 精神科専門医制度指導医を対象とした「指導医講習会」を、2019年6月22日、2019年9月8日、2020年1月19日に実施した。
- 専門医試験受験資格審査（研修手帳審査）を行った。
- 研修に関する各種申請の審査を行った。
- 新専門医制度の研修の記録システム（研修実績管理システム）を導入し、専攻医の登録、運用・管理を行った。
- 2019年7月14日に「精神科専門医認定試験一次試験（筆記試験）」を実施。一次試験合格者において2019年8月31日、9月1日の両日に「精神科専門医認定試験二次試験（口答試問）」を実施し、新たに精神科専門医を認定した。
- 2020年3月より専門医を対象に、「2019年度 精神科薬物療法研修」を実施した（e-ラーニング）。
- 「精神科専門医制度研修施設」の新規認定審査、更新認定審査を行った。
- 「新専門医制度 精神科専門研修プログラム」の申請について一次審査を行った。
- 「精神科専門医制度指導医」の新規審査、更新審査を行った。
- 精神科専門医の資格更新審査を行った。
- 精神科専門医資格認定更新にかかる研修（専門医単位取得対象）としての学会、研修会、研究会等の新規認定審査、更新認定審査を行った。
- 日本専門医機構の専門医整備指針に基づき、新たな精神科専門医制度の構築について、常任委員会を中心に検討を行った。
- 2019年4月1日から新専門医制度のもと、464名の専攻医が研修を開始した。
- その他、専門医制度における各委員会において、各担当事項について検討を行った。

VII. 情報に関する事業

精神医療、精神医学に関する情報は膨大であり、本学会は、その中から精神医療・精神医学に関する提

言・意見、または診断や治療に関するガイドラインの策定などを適宜公表することが学術団体としての責務であると考え活動した。

■ プレスセミナーの実施

精神医学・医療にまつわる多くのセッションを扱う機会である年次学術総会の2週間前に、より多くの方にその内容に興味を持っていただき、また、精神医学・医療への理解を深めていただく目的で、報道関係者を対象にプレスセミナーを実施し、50名を超えるメディア関係者が参加した。

■ 会員専用ページを通じた情報提供

会員専用ページに、自身の会員情報管理や各種の会員向け情報を本年度も多く配信した。

2013年度に開始した精神科専門医更新のためのeラーニングに今年は19本の動画を新規掲載した。

■ メールマガジンでの情報提供

メールアドレスを登録している会員に適時、メールでの情報配信を行った。

以 上